



7/13  
金曜日

飲酒運転の根絶を誓う

飲酒運転根絶の日決起大会

交通安全推進委員会らが主催する「日高地区飲酒運転根絶の日決起大会」が13日、浦河町総合文化会館で開かれ、管内の交通安全関係の団体など約150人が出席。「飲酒運転根絶道民宣言」を全員で唱和し、「飲酒運転をしない、させない、許さない」という強い決意を宣言しました。

道交通事故被害者の会の高石洋子さん（江別市）による「悲劇をなくすために」と題した基調講演では、平成15年にアルバイトに向かう途中だった当時高1の二男を飲酒運転によるひき逃げにより亡くしたときの心情を語り、飲酒運転の根絶を強く訴えていました。



7/13  
金曜日

多くの若者が楽しく交流

異業種交流会

うらかわ出合い交流イベント実行委員会（小田倉広晃委員長）が主催する「異業種交流会」が浦河町基幹集落センター堺町会館で開催され、10事業所から57名が参加しました。

参加者同士の親睦を深めるため、グループ対抗クイズ大会を実施。浦河町に関するクイズや、各事業所にちなんだクイズが出題されました。交流時間には名刺交換をしたり、食事をしながら会話を楽しんだりして交流を深めていました。



7/14  
土曜日

日高線の再生と役割を提言

JR日高線フォーラム開催

日高管内有志でつくるJR日高線を守る会（村井直美代表幹事）主催によるフォーラム「JR日高線の再生を！今あらためて考えよう日高線の役割」が14日、浦河町基幹集落センター堺町会館で開催され、管内外から約70人が参加しました。

フォーラムには、池田拓浦河町長、JR北海道研究会の宮田和保会長（道教育大名誉教授）、安全問題研究会の地脇聖孝代表（新ひだか町在住）がパネリストとして出席。JR北海道の経営姿勢の問題点などについて提言されました。



7/15  
日曜日

甘酸っぱいいちごを満喫

夏いちごの日イベント

夏いちごの日（7・15）にちなんだイベントが、浦河町基幹集落センター堺町会館で開催されました。

いちごパックやシャーベットの販売、いちごの詰め放題やパフェ作り、ケーキ作り体験などいちごづくしのイベントとなり、会場は約300人の来場者で賑わいました。イベントに訪れた多くの子ども達は、自分で作ったケーキなどのスイーツをおいしいと笑顔で味わっていました。





北海道中体連全道大会に出場する選手の激励会が生涯学習センターで開かれ、バスケットボールなど7種目69人の選手が池田町長、浅野教育長、太田正克体育協会副会長から激励を受けました。

選手を代表して、陸上競技男子四種競技に出場する萩伏中3年生の向下航選手は、「支えてくれた方への感謝を忘れず、練習の成果を発揮して良い報告ができるよう頑張ります。」と決意表明をしました。

7/20 金曜日

7種目に  
69人が出場

中体連全道大会出場激励会

町では、7月2日に浦河町勤労者体育センター玄関ホールの照明43基のLED化を無償で行った(株)坂本電建(齊藤龍治社長)へ、感謝状を贈呈しました。

同社では、昨年も地域貢献事業の一環として、浦河町ふれあい会館ロビー全ての照明のLED化を無償で行っています。

感謝状を受け取った齊藤社長は、「これからも地域に貢献する会社でありたい。」と話されていました。

LED照明に無償で交換

7/20 金曜日  
坂本電建へ  
感謝状を贈呈



上) 池田町長から感謝状を受け取る齊藤龍治社長  
左) 7月2日、LED化工事を実施



だがし屋 浦小アンテナショップ“うみ”

町民参加型芸術文化フェスティバル「うらフェス」(実行委員会主催)が昨年引き続き開催され、久々の快晴の中、会場の浜町通りは約2000人の来場者で賑わいました。

浦河高生や浦河小児童など40店が出店した1日限りのマーケットやワークショップ、野外ステージにも多くの客が訪れました。

約120人で結成された浜町ストリートバンドが会場を練り歩き、浜町通りを賑やかに盛り上げました。

7/21 土曜日

子どもたちの  
思い出に  
うらフェス

うらフェス

「浦河赤十字病院を応援する会」の設立総会が同病院で開かれ、発起人ら24人が出席し、役員体制や会の規約、本年度の事業内容を決め、会長に行政相談員の土井忠男さんが選出されました。

土井会長は、「24時間の救急医療体制や産婦人科を維持する日赤があることが当たり前とは思わずに、『ありがとう』と言える環境をつくっていききたい」と話されていました。

応援する会では、一般会員(年会費千円)、賛助会員(1口5千円)を募っています。詳しくは、18ページのタウンガイドをご覧ください。

赤十字病院を応援する会

7/23 月曜日

地域の財産  
日赤を応援

